

5 戦略推進にあたっての基本的な考え方

具体的な各施策の推進においては、デジタル技術の導入検討・活用を図ることで、施策効果を高めていきます。デジタル技術の導入検討・活用の推進を図るうえでは、その推進基盤として①「デジタル基盤の整備」、②「DX人材育成」、③「誰一人取り残されないための取組」が必要です。この推進基盤を「DX推進基盤」として定義し、整備・運用にあたっては、令和4年度に庁内へ設置した「DX推進本部」が中心となり、各課間の横断的な連携を図りながら進めていきます。

①デジタル基盤の整備

デジタルにより施策効果を高めるためには、各施策の事業に必要なデジタル基盤の整備が不可欠です。各課から寄せられたデジタル基盤導入ニーズについて、DX推進本部が庁内横断的に取りまとめ、調整を行い、導入に向けた検討を行うことで、より効果が高く最適化が図られたデジタル基盤の整備を目指します。

②DX人材育成

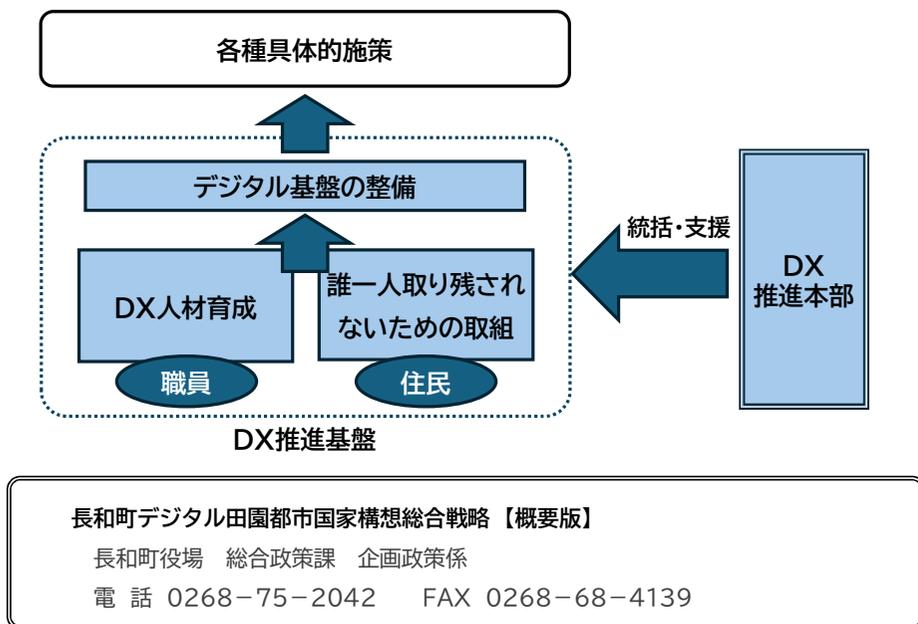
デジタル基盤の整備・運用においては職員一人ひとりがDXによる加速化・深化した施策運営を行うことができないかという観点と、導入されたデジタル基盤を使いこなすことができる能力を掛け合わせた「DXリテラシー」を持つことが不可欠です。職員の「DXリテラシー」育成に向けた多角的な支援をDX推進本部が中心となり、実施していきます。

③誰一人取り残されないための取組

デジタル基盤の整備にあたっては、誰一人取り残される人がいないように、「住民が広く使いやすいもの」という観点を踏まえて行っていきます。また、導入した後も住民が使える、使いやすくなるための工夫に努めていきます。

デジタル技術の導入により、施策効果を高めるとともに、住民の利便性と行政の業務効率化を推進し、住みやすく持続可能な地域社会の実現を目指します。

【戦略を推進する上での基本的な考え方 イメージ図】



長和町デジタル田園都市国家構想 総合戦略【概要版】

1 策定の趣旨

日本では2008年をピークに人口減少が始まり、この傾向は今後加速すると予想されています。国はこれを受け、2014年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方自治体もこれに基づく総合戦略で地域の課題解決に取り組んできました。国は2022年に後継の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、この流れをより加速させることを目指しています。

長和町でも急速な人口減少が続き、2020年には人口が5,600人にまで減少しました。この状況に対応するため、平成27年度に「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、令和2年度には第2期総合戦略を策定し、人口減少対策に取り組んできました。

第2期総合戦略の計画期間終了を受け、町では国の戦略に基づいた「長和町デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。本戦略では第2期までの各施策との整合性や継続性に留意しつつ、人口減少に歯止めをかけるための施策展開を行っていきます。

2 計画期間

令和7年度(2025年)から令和11年度(2029年)までの5年間

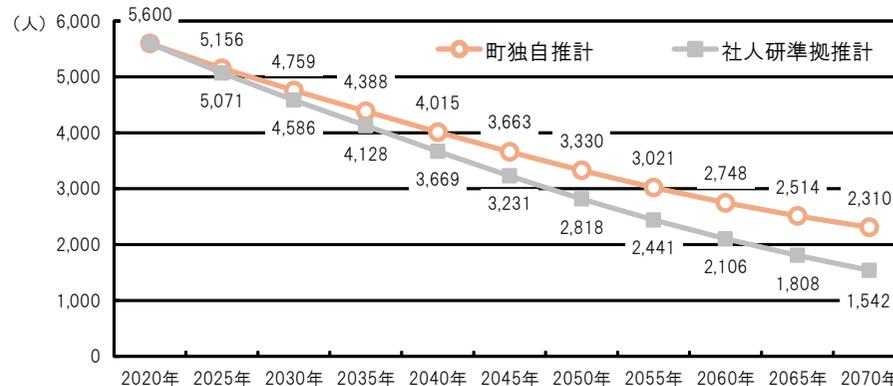
3 人口の見通し

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、2020年に5,600人だった人口は、2040年には3,669人、2060年には2,106人まで減少する見込みです。65歳以上の高齢人口割合も2020年の42.5%から、2040年には52.6%、2060年には56.5%に上昇するとされています。これらの人口減少や高齢化は、地域の産業や活力に悪影響を及ぼします。

町では「長和町デジタル田園都市国家構想総合戦略」に基づく施策を進め、人口減少と少子高齢化の抑制に取り組みます。本戦略では出生率の向上や転入促進、転出抑制を目指し、町独自の将来推計人口を算出しました。その結果、2040年には社人研準拠推計に比べ346人多く、2060年には642人多い推計となり、人口減少の抑制効果が示されています。また、高齢化率も2040年で▲4.5ポイント、2060年で▲12.4ポイント低い推計となっています。

町は自然動態と社会動態の改善に向け本戦略を着実に推進し、人口減少に歯止めを掛ける努力を続けていきます。

【長和町の人口推計】



長和町の
基本理念

住民と行政との協働のまち

豊かな自然や歴史と文化を守り、
やさしさと潤いのあるまち

地域特性を活かし、
活力と魅力あふれるまち

基本理念達成に向けた4つの目標

基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
<p>地域資源を活かした地域産業の振興で働いてみたいくなる長和町をつくる</p>	<p>地域資源を活かした観光・交流文化の構築でひとの流れを呼び込む長和町をつくる</p>	<p>地域資源を活かし、結婚・妊娠・出産・育児・子育てを切れ目なく支援する環境を整え、子育てしたくなる長和町をつくる</p>	<p>地域資源を活かした安全・安心な環境の確保で、暮らし続けたいくなる長和町をつくる</p>
<p>■ 数値目標</p> <p>【就業率】</p> <p>基準値：58% [R2年] 目標値：維持 [R11年]</p>	<p>■ 数値目標</p> <p>【①社会移動(転入－転出)】</p> <p>基準値：△38人[R5年] 目標値：△9人 [R11年]</p> <p>【②長和町の観光客数】</p> <p>基準値：414,200人[R5年] 目標値：500,000人[R11年]</p>	<p>■ 数値目標</p> <p>【①出生数】</p> <p>基準値：13人 [R5年] 目標値：25人 [R11年]</p> <p>【②合計特殊出生率】</p> <p>基準値：0.63 [R5年] 目標値：1.66 [R11年]</p>	<p>■ 数値目標</p> <p>【まちづくりに資する拠点の整備箇所数】</p> <p>基準値：1箇所 [R5年] 目標値：2箇所 [R11年]</p>
<p>主な施策</p>	<p>主な施策</p>	<p>主な施策</p>	<p>主な施策</p>
<p>(ア)特産品開発等による雇用の創出</p> <p>①東京農業大学との連携による特産品販路拡大と知名度向上</p> <p>②地域資源の掘り起こしと認定制度の運用、ワイン産業プロジェクト展開事業の実施</p> <p>③特産品の開発と販売戦略等の構築による地場産業振興及び6次産業化推進</p>	<p>(ア)地域資源を活かした観光振興による交流人口の増大</p> <p>①地域資源を活用した観光振興のための観光地域づくり法人(日本版DMO)の研究及び町全体での観光プロモーション</p> <p>②ピーナスラインやご当地そば等の共通観光資源を持つ他自治体との連携による広域的な人流創出</p> <p>③観光協会との連携による訪日外国人旅行者の受け入れ体制・環境整備に向けた人材育成及びプロモーション強化</p>	<p>(ア)結婚支援体制の充実(「婚活」支援)</p> <p>①社会福祉協議会、婚活イベント団体との連携による出会いの場提供、アフターケア、成婚フォローを含む婚活支援体制の充実、上田地域定住自立圏構成自治体等と連携した情報発信</p>	<p>(ア) 協働のまちづくりの推進</p> <p>①住民自治基本条例の理解促進と協働のまちづくり推進</p>
<p>(イ)環境にやさしい農業の推進</p> <p>①環境負荷低減と持続的発展に向けたモデル的取組の横展開、有機農業の取組拡大、地域資源の循環利用</p>	<p>(イ)空き家の活用による交流人口および関係人口の増大</p> <p>①空き家を活用した新たな価値創出、2拠点生活の促進による流入人口増加、「長和町田舎暮らし体験住宅」の活用と空き家を活かした関係人口の増大</p> <p>②空き家バンクの充実、移住相談による移住検討者と地域資源とのマッチング、移住促進のための情報発信</p>	<p>(イ)子育てに係る経済的支援の充実</p> <p>①子育て世帯の経済的負担軽減措置、奨学金制度の充実検討</p>	<p>(イ) 安全・安心なまちづくり</p> <p>①各地区の自主防災組織設立、地域住民の防災士資格取得推進</p> <p>②防犯カメラの維持管理による見守り体制の充実や犯罪抑止</p>
<p>(ウ)雇用創出のための企業誘致、働く場所の確保</p> <p>①若い世代や移住者の雇用確保に向けた企業誘致及び働く場所の確保</p>	<p>(ウ)若い世代の定住人口増大のための支援</p> <p>①45歳以下の方への新築住宅助成と新たな宅地造成の検討</p>	<p>(ウ)総合的な子育て環境の充実</p> <p>①子育て相談環境の整備、子育てに関する取組の情報発信</p> <p>②子育てサポーターの育成、子育て見守り人材の増加</p> <p>③様々な家族のかたちに合わせた子育て環境・支援体制の整備</p> <p>④保護者が子どもの接し方や関わり方を学び、日々の子育てに生かすための施策の実施</p> <p>⑤保育園ICTシステムの導入による保護者の利便性向上、保育事務省力化による保育の質向上</p>	<p>(ウ) 安心なくらしを守るための空き家対策</p> <p>①空き家となっている危険家屋への対応と補助金運用周知</p>
<p>(エ)雇用創出・人材定着に関する企業への支援</p> <p>①雇用拡大や人材確保に取り組む企業支援、フリーランス人材誘致及び定着に向けた取組</p>	<p>(エ)国際交流の推進による交流の活性化と人材育成</p> <p>①英国との地域間交流、長和青少年黒耀石大使の育成、海外への長和町の情報発信、ICT機器等を活用した多様な国際交流</p>	<p>(エ)時代の変化に対応した特色ある教育環境の充実</p> <p>①児童館図書室のデジタル化を含めた事業展開検討</p> <p>②コミュニティスクール・学校地域支援本部の取組継続、取組情報発信による認知度向上</p> <p>③ICT教育等時代に即した施策と補完的学習の場などニーズを踏まえた施策による質の高い教育の実現</p> <p>④放課後児童の適切な受け入れ体制の検討</p>	<p>(エ) 健康長寿のまちづくりと生活を支える仕組みの充実</p> <p>①健康増進計画に基づく町民の健康づくり推進</p> <p>②支え合いサポート事業の充実とボランティア育成</p> <p>③住民主体の通いの場活動の推進</p>
<p>(オ)新規就農者の確保</p> <p>①次世代の農業の担い手確保に向けた新規就農者支援</p>	<p>(オ)情報発信体制の強化</p> <p>①町内外に向けた各種媒体を活用した情報発信</p> <p>②女子美術大学と連携したアートを活用した情報発信や地域振興</p>		<p>(エ) 道の駅マルメモの駅ながと、和田宿ステーションの魅力向上</p> <p>①地域拠点としての魅力向上と複合施設の活用</p>
<p>(カ)商工業の発展促進</p> <p>①商工会の支援、「商工業発展促進事業」の見直しと周知</p>			<p>(カ) 時代に合った別荘地づくり</p> <p>①別荘マスタープランに基づく運営、新規契約者の需要開拓、別荘地の魅力発信</p>
<p>(キ)企業情報発信の強化</p> <p>①企業の雇用ニーズ把握、人材マッチングに向けた情報発信</p>			<p>(キ) ふるさと納税制度の活用</p> <p>①ふるさと納税とガバメントクラウドファンディングのPR、寄附金活用による地域課題解決や返礼品による地域経済活性化</p>
<p>(ク)起業支援体制の充実・事業者の育成</p> <p>①伴走型支援による創業支援、事業承継支援策の検討</p>			<p>(ク) コミュニティ施設を活用した地域共生社会の実現とSDGsの実践</p> <p>①古町コミュニティ施設を活用した健康増進事業、福祉教育実践のための拠点づくり</p> <p>(ケ) 旧和田中学校を活用した地域住民の健康推進と新たな活力の創出</p> <p>①旧和田中学校の複合施設化に向けた整備</p> <p>(コ) 自然環境の保全と脱炭素化の推進</p> <p>①カーボンニュートラル推進による町の自然環境や町民の持続可能ななくらしの保全、自然と人が共存できる循環型社会を目指すための調査・研究</p>